



世界に希望を生み出そう

RI 会長テーマ

2023～2024 年度
大船渡西ロータリークラブ会報

七福人

会 長 紀室 綾子

副会長 松田 福美

幹 事 三田地大悟



= 会長指針 =

希望を胸に心ひとつに

．．． 例 会 記 録 ．．．

11月第1週例会 2023年11月 9日 (木)

ソング : 君が代・4つのテスト ボックス : 21,000円 (報告者 門田 崇会員)

本日出席率 : 69.70% 前回修正後39.39% (メンバー0名) (報告者 上野 哲会員)

★ 会長の時間 : 紀室綾子会長



ロータリーの危機管理についてお話いたします。ガバナー月信の8月号に、ロータリーの危機管理について、例会や勉強会で話し合ってほしいと、ガバナーよりメッセージが掲載されました。

月信での一部を抜粋致します。

ロータリーの危機管理とは「ロータリークラブ、ロータリアンにとって好ましくない事態のすべて」と定義されています。例を挙げるとセクシャルハラスメントやパワーハラスメント、ジェンダーハラスメントなどの「ハラスメント」、地震、

津波、台風、洪水などの「自然災害」、ウィルス性感染症の世界的な「パンデミック」、そのほか「個人情報保護」や「サイバー攻撃・情報操作」などもあります。ハラスメントについてロータリーの行動規範では「ロータリーはいかなる形であれハラスメントのない環境を維持することに力を注いでいます。

と明記されておりました。

現在、ロータリーが最も懸念しているのは、青少年や異性に対する不適切な接し方など、いわゆるハラスメント問題のようです。先の米山の研修会においても、残念ながら奨学生に対する不適切な行動や誤解が発生した事例があったようで、午後の研修会では、ハラスメントに焦点を当てた講義が行われました。

昨今、社会環境が変化し、人々とのつながり方が大きく変わったことで、接し方やつながり方にも十分な配慮が必要になりました。ロータリアンとして、そして企業人として、コンプライアンスと倫理感がますます重要視される社会になっています。

2019年1月のRI理事会において、ロータリアンの行動規範に以下の5つの項目が追加されました。

私たちロータリアンは、以下の通り行動いたします：

- 1.個人として、およびビジネスにおいて、高潔さと高い倫理基準を心がけます。
- 2.取引の全てにおいて誠実さを保ち、相手とその職業を尊重します。
- 3.職業スキルを活かし、若者を指導し、特別なニーズのある人々を支援し、地域社会や世界中の人々の生活の質を向上させます。
- 4.ロータリーや他のロータリアンの評判を損なう行動を避けます。
- 5.ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、報告者への報復を防ぎます。

ハラスメントは倫理違反であり、言わばロータリーの敵ではないでしょうか。

孔子の言葉にあるように、「己の欲せざる所、人に施すなかれ」、つまり他人からしてもらいたくないことは、自分も他人にしてはならないということです。自分が嫌なことは、他人にも嫌がられることであるため、それを行ってはなりません。

ハラスメントは奉仕の理念に反する行為であり、倫理違反です。厳に戒めなければなりません。昔ながらの固定観念や思い込みを捨て、相手の気持ちや立場を考え、確認を取るなど思いやりをもって行動して欲しいものです。危機管理は、これこそ「奉仕の精神」の具現化そのものであり、ロータリーの精神に則った行動です。ロータリーの精神と、ロータリアンとしての行動指針、そして危機管理について十分な考査を行っていただきたいと思います。

ハラスメントは状況によってさまざまな形をとりますが、ハラスメントの一例を以下に挙げてみます。

- ・口頭や文面で屈辱的な言葉を使うこと（Eメールやソーシャルメディアを含む）
- ・いじめ
- ・Eメールやソーシャルメディアでの抽象的なコメント
- ・噂話やゴシップ（その人の評判をおとしかかぬない私生活に関する屈辱的なコメントを含む）
- ・相手の動きを意図的に妨げる
- ・ある人の性生活や性体験について質問したりコメントしたりする
- ・相手の特徴に関する冗談や抽象的な言葉
- ・同意のない身体的接触（体に触れる、抱擁、つねるなど）またはそのような接触を与える脅かし
- ・ある人の魅力や容姿に関する一方的なコメントを発する
- ・じろじろ見たり、口笛を吹いたりする
- ・性的な示唆を含む、または屈辱的な、言葉、物、写真、記事、手紙、Eメール、テキスト、ウェブサイトを使用、表示、シェアする
- ・無理にハグなどを行う
- ・無理に肩を組んで写真を一緒に取る
- ・無理に飲食を進める
- ・相手の名前を勝手に呼び捨てにする
- ・あだ名を勝手につける
- ・相手の弱点を指摘する
- ・他人の評判や悪評を言いふらす、その他罵詈雑言など

私たち西ロータリーも常に変化する社会環境に対応しながら、危機管理とハラスメント問題に取り組み、これらの課題に真摯に向き合い、常に学びながら改善していくことが重要と思われます。危機管理の意識を高め、ハラスメントのない環境を築き上げることで、わがクラブがより発展するものと信じてやみません。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1 ガバナー事務所より

佐藤剛ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会の案内が届いています。

日 時 12月3日（日）16：30～

場 所 プラザイン水沢 登録料 15,000円 締め切 11/17

2 ガバナーエレクト事務所より

次年度地区組織役員・委員の就任依頼書が届いています。

濱守会員へ R財団員会ポリオプラス委員会委員長

紀室会員へ // 委員

3 大船渡商工会議所より

優良従業員表彰協力金のお願い（依頼額 30,000円）と表彰式の案内が届いています。

日 時 11月23日（木）受付9：30～9：45 開会10：00

場 所 大船渡市民文化会館リアスホール大ホール 締め切 11/10



本日のプログラム



★ 志田豊繁会員卓話



「未来創造塾」は、震災を事業拡大や再構築のチャンスととらえ、経営者や地域リーダー育成を支援する人材育成プログラム。

塾長は生活用品大手「アイリスオーヤマ(株)」の会長。

私は第一期卒塾生で卒塾生の会長を務めております。

卒塾生の集いの会場で、大山塾長に講演の依頼をしたところ、快諾を頂き12月9日大船渡市民文化会館大ホールで開催する運びとなりました。

アイリスオーヤマ初の自社製品は、プラスチック製の浮き球。

初めての販売先は真珠養殖業者。これが西日本で爆売れしたが、耐久性が良いので、商品回転が悪く東日本にも進出。大阪と仙台に工場を建設したが、オイルショックにより大阪の工場を閉鎖。

ペットブーム・ガーデニングブームと時代の流れを先読みし、時代に沿った製品を開発している。

今回の講演に、地元企業の代表や新規事業の起業を考えている若者に多く参加して頂く事で、大船渡市の意気込みを感じて頂き、もしかしたら塾長が大船渡市で起業して頂けるかも？と期待を抱いているところです。みなさんの講演会へのご来場をお待ちしております。